

立憲民主党 立憲民主編集部

〒102-0093
東京都千代田区平河町 2-12-4
ふじビル3F
Tel. 03-6811-2301
Fax. 03-6811-2302

立憲民主党愛知県第15区総支部
(衆議院議員せき健一郎事務所内)

〒441-8065
豊橋市中浜町219-30
Tel. 0532-35-6777
Fax. 0532-35-6776
E-mail info@seki-kenichiro.jp
https://seki-kenichiro.jp/

せき健一郎公式HP



世き 健一郎 さんの主張
衆議院議員 立憲民主党愛知県第15区総支部長
(活動区域:豊橋市・田原市)

現役世代への**10万円の追加の現金給付**や期間を限定した**消費税減税**を含む積極的な経済対策が求められています。短期的な財政均衡に囚われて「未来への過少投資」に陥ることは、国力そのものを弱体化させます。少子化という我が国が直面する最大の問題に対処するためにも、「大規模、長期、計画的な」積極財政に今こそ**経済政策**を転換すべきです。

新型コロナウイルス感染症という人類が直面する世界的な緊急事態に、日本の国会は予定通り閉じられました。私の目指す野党像は、いつまでもそこを批判し続けるのではなく、姿勢を切り替え、国会の外で問題点を見つけて出して政府に修正を求めることです。そのための政党です。

街頭演説をするときに私がお話することは「新型コロナウイルス感染症に関するお困りごと、ご不明な点は何なりとお申し付けください」です。全国各地で国会議員が皆様の意見を集約し、政治が解決すべき課題を浮き彫りにします。すでに党として、来日したオリンピック関係者の空港での濃厚接触者の隔離や空港での待機の要請など具体的な提案を政府にしています。

そして、新型コロナウイルス感染症対策と併行して、今回は**経済対策を提案**します。

今、できる事をやる

経済を回す～世界の流れは積極財政～

追加の経済対策、今すぐ実施しなければなりません。世界経済は急回復の兆しを見せていますが、日本だけが取り残されています。先月OECD*が発表した今年の経済成長率の予想では、日本はG7の中だけでなくG20の中でも最下位、OECD38カ国の中でも下から2番目です

今、世界の財政政策の潮流が大きく変わっています。1980年代以降の小さな政府、構造改革路線から「大規模、長期、計画的な」積極財政に転換しつつあります。日本でもワクチン接種が進み始めた今こそ、積極的財政政策によってコロナで傷ついた経済の回復を確実にしなければなりません。

*OECDは、Organisation for Economic Co-operation and Development の略称で、日本語で経済協力開発機構といいます。OECD条約には、1)経済成長、2)開発途上国援助、3)多角的な自由貿易の拡大、の3つの設立目的が明記されています。2021年6月現在、OECD加盟国は38カ国。



与野党を超えて、
政治は世代交代

「新型コロナウイルスに向き合う」
<https://seki-kenichiro.jp/sars-cov-2/>



動き方と考え方も
変えななきゃ!!

時代が変わったんだから



「弱者だけに手を差し伸べる」 ではなく「誰もが直面する大きな 負担を頼りあい」で分かち合う

高度経済成長の時代、まじめに働けば給料は上がり、貯金ができました。何年かまじめに働けば、所帯を持つために必要な貯金が、子どもを産みマイホームを建てる資金が、そして「老後のたくわえ」がたまりました。この時代は「自己責任」で問題なかったと私は思うのです。

しかし21世紀に入ってからの日本は、世帯の所得の減少傾向は変わりません。まじめに働くだけでは「まとまったお金」が作ることができない時代なのです。「自己責任」は機能していないのです。

人生で誰もが直面する大きな負担**「医療・介護・教育」は、だれもが無料**で利用できる、自己責任から頼りあいに軸足を移した北欧型の社会保障を目指します。

国土の「均衡ある発展」だけでなく「個性ある発展」へ

高度経済成長の時代、日本列島を新幹線が走り、電車の線路は地下をめぐる、高速道路が全国各地で網羅されることで日本の交通インフラは劇的な進化を遂げ、橋や道路、ダムも整備され、地方の生活水準は劇的に進化しました。地方の**「均衡ある発展」**が実現されたのです。今後も必要な交通インフラを整備していくことは大切です。

それに加え、その地域が持つ魅力を生かした**「個性ある発展」**を目指します。豊橋市と田原市は、**市町村別農業産出額で田原市が2位、豊橋市が13位**です。今世紀中、世界の人口は増加し、とりわけ東南アジア諸国は所得が上がり

生活が向上し、食糧不足に直面します。その時に備え、この地域は「食の都」を目指します。農業とその関連ビジネス、そして農業とテクノロジーを融合させた**「アグリテック」**ビジネスの創出、**農業を軸とした関連ビジネスが集積する「食の都」**を目指します。



お困りごと
ありませんか？

新型コロナウイルス感染症など

お困りごとご相談ください!

せき健一郎プロフィール

議員立法**8本**(種子法復活法案・公文書管理法・家畜伝染予防法)
衆議院質問回数**50回**
時間**21時間9分**
衆議院本会議登壇**3回**
環境委員会 地方創生特別委員会 震災復興特別委員会
環境・農業・社会保障が専門

昭和53年8月8日生まれ
本籍現住所・愛知県豊橋市
妻・長女・長男・次男・三男・秋田犬の6人と1匹家族
NHK記者11年国内外の現場取材
慶応義塾大学法学部政治学科卒業

せき健一郎発信!!

LINE 公式アカウント



(令和3年7月20日現在)

